

感染症病棟で勤務するために大切なこと

齋藤 理恵

【はじめに】

2019年12月に中国武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症（以降COVID-19）は、短期間で世界中に広がった。2021年3月1日時点の感染者数は43万4129人、死亡者数は7961人であり、現在も収束を迎えていない。岐阜県では、2020年2月に初めてCOVID-19感染症が発症し、3月に入ると患者数は増加した。当院の感染病床8床は2週間ほどで満床となり、4月10日一般病棟が感染症病棟として稼働することとなった。

感染症病棟稼働のため病棟編成が行われ、感染症病棟で勤務するスタッフは、新たに収集された。感染症病棟という特殊な環境下で、COVID-19という未知の疾患に対応するスタッフは、この1年、常に感染への不安や恐怖というストレスを感じながら勤務していた。また、従来通りの看護が提供できないことへの葛藤もあり、看護に対する満足度が得られる機会も一般病棟のように多くなく、ジレンマを抱えることも少なくない。

これらの要因から、感染症病棟稼働当初は、この状況が長期化した際は、勤務異動を申し出る看護師もいるのではないかと感じていた。しかし、この1年間を通し自ら勤務異動を希望するものはいなかった。

今回、その要因について考察する。

【方 法】

感染症病棟に勤務した看護師22名に、2020年9月と2021年2月の2回アンケート調査（資料

1）を実施した。「17. 何でも言いやすい相談しやすい環境であった」「18. 病棟（看護師・医師など）の雰囲気が良かった」は、9月のアンケート調査の「その他」に多く記載されていた事を新たに項目として追加した。各項目を「重要」から「重要でない」までの5段階で評価し、1点～5点と点数化し比較した。さらに、最も重要と思われる事について3つ選択し、点数化した。

【結果と考察】

2020年4月～2021年3月までの勤務異動は5回、感染症病棟勤務看護師延べ人数25名、平均看護師数18.75人、看護師経験年数は平均12.2年（2021年3月時点）であった。内1年間継続して感染症病棟で勤務した看護師は15名、また、同居家族のいる看護師は36%であった。

アンケートの回収率は100%であった。結果は平均3.4点以上であり、どの項目もやや重要から重要であるという結果であった。特に「適切なPPEが整備されている」は、2月の結果では全員が重要であると回答しており、他にも「ウイルスを持ち帰らない」「PPE着脱チェック」などの項目が高い点数を示した（図1）。これらのことから、感染防止に関する項目とそれに伴うサポート体制が重要であると言える。また、最も重要と思われる項目は、「適切なPPEが整備されている」であった。次に2月のアンケート調査項目に追加した「病棟（看護師・医師など）の雰囲気が良かった」、「何でも言いやすい相談しやすい環境であった」の順であった（図2）。以上から、感染症病棟での勤務を継続するには、感染対策に欠かせないPPEを充足させることが重要と言える。また、

一から始めた病棟であるため、スタッフ全員で働きやすい職場にしようという気持ちを持って働いていた職場風土なども、勤務継続のために重要な要因であったと考える。

染防止対策が整った環境が重要である。また、感染症病棟だから特別なことがあるというわけではなく、病棟の組織・風土づくりなど、どの部署でも行われていることが重要と言える。

【ま と め】

キーワード

「感染症病棟」「勤務異動」「感染防止」

感染症病棟での勤務を継続するためには、感

資料 1

| | 重要 | やや重要 | どちらともいえない | あまり重要ではない | 重要ではない |
|--|----|------|-----------|-----------|--------|
| 1. 毎日健康チェックをし、体調管理を行っている | | | | | |
| 2. 適切な PPE が整備されている | | | | | |
| 3. 定期的に PPE 着脱訓練を行い、感染防止策を身に着けた | | | | | |
| 4. 業務中の服装の整備など、ウイルスを持ち帰らないための配慮があった | | | | | |
| 5. 倫理カンファレンスなど話し合いの場を多く持った | | | | | |
| 6. ストレスチェックによる自己管理を行った | | | | | |
| 7. 各種マニュアル・手順の整備を行った | | | | | |
| 8. COVID-19 についての資料の提供を受けた | | | | | |
| 9. 勉強会(挿管介助技術や人工呼吸器取り扱いなど)で知識を得る機会があった | | | | | |
| 10. 看護部や他部門(医師、検査部、薬剤部、管財課など)の協力があった | | | | | |
| 11. 地域住民からの温かい応援の気持ちを感じる機会があった | | | | | |
| 12. 感染症特別業務手当が支給されている | | | | | |
| 13. 赤十字病院の理念に基づいた看護師としての使命とを感じる | | | | | |
| 14. 重症患者が少なかった | | | | | |
| 15. 陽性患者との接触を最小限にできる整備があった | | | | | |
| 16. 家族などの理解と協力を得られた | | | | | |
| 17. 何でも言いやすい相談しやすい環境であった | | | | | |
| 18. 病棟(看護師・医師)の雰囲気が良かった | | | | | |
| 19. その他() | | | | | |
| 20. その他() | | | | | |

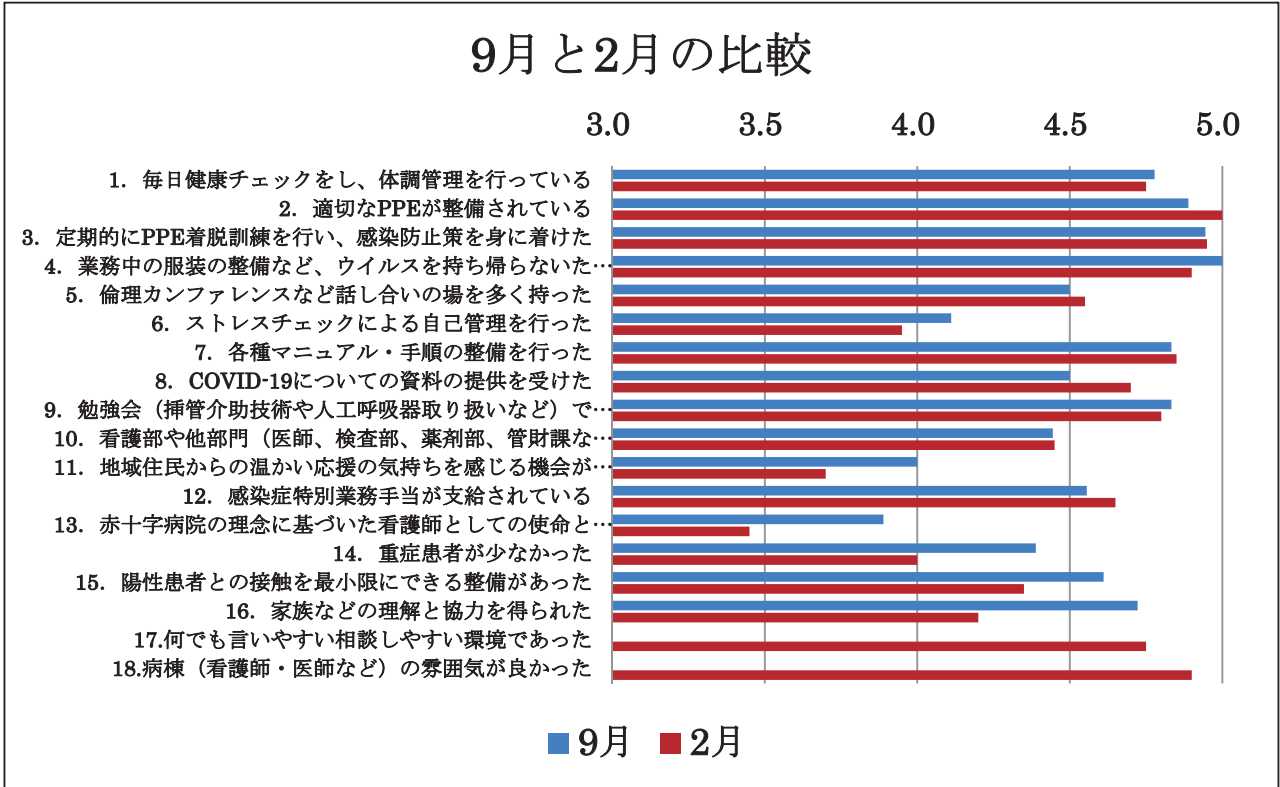


図1

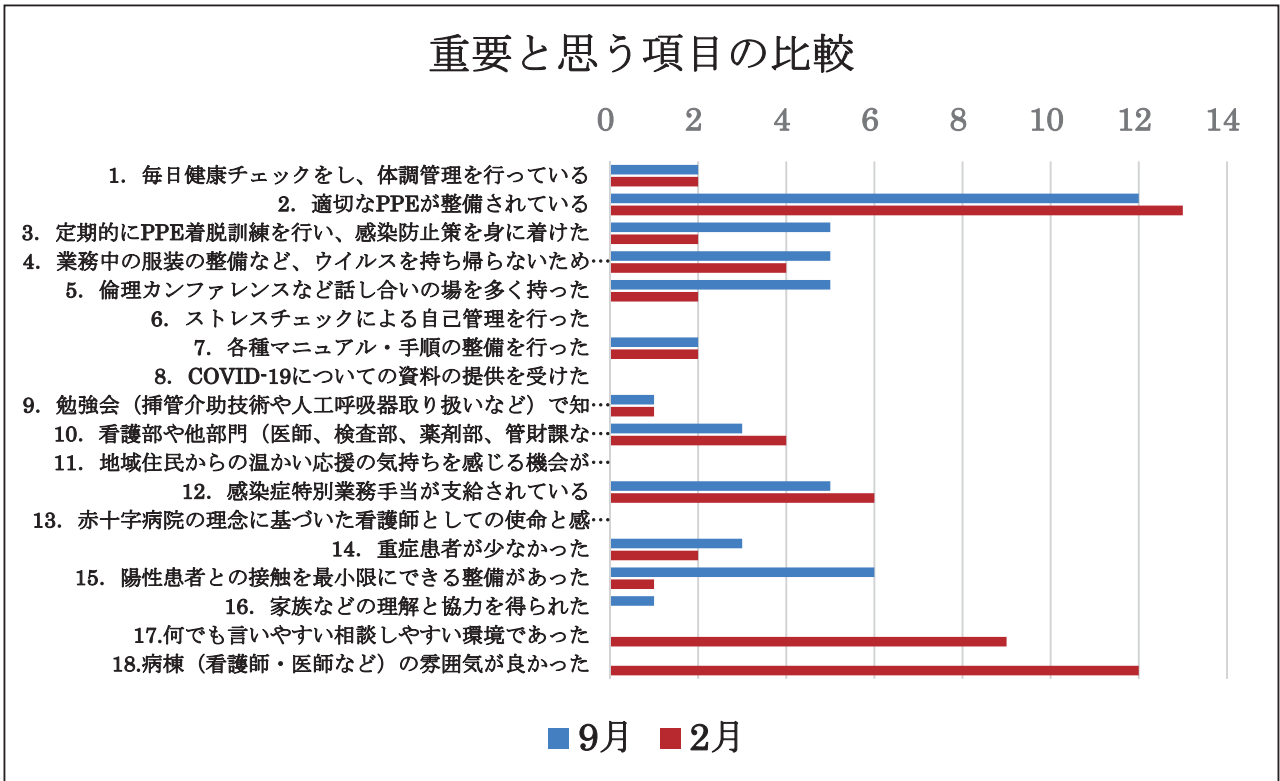


図2

